



4 大崎町秋季畜産品評会！

8月28日(木)、町家畜集合指導センターにおいて、肉用牛の秋季畜産品評会が開催されました。

品評会には68頭の出品があり、成績は次のとおりです。優秀牛は、9月16日(火)に行われる『曾於地区秋季畜産共進会』に町を代表し出品されます。

- 【肉用牛1部】 1席 後迫ハル子(東中組)
2部 久徳トヨ子(中沖中)
3部 東 幸二(東干草)
- 【肉用牛2部】 1席 原田 雪子(中沖西)
2席 溝口 静(下持留)
3席 今福 善一(田中)
- 【肉用牛3部】 1席 栢山ゆかり(下持留)
2席 折尾 順一(立小野下)
3席 岡元 久雄(福岡)
- 【肉用牛4部】 本後 正人(中水之谷)
3頭1組 園田 則明(大佐土原)
園田 軍一(大佐土原)
- 【肉用牛5部】 山野 正弘(平良)・中濱 博志(牧)

3 伝統風習『盆釜(ぼんがま)』角堂集落

8月10日(日)、角堂集落の子ども会で、30数年続いている伝統風習『盆釜(ぼんがま)』が行われました。

角堂集落での盆釜は、お盆の時期、忙しい保護者に代わって子ども同士が、おにぎりやソーメンを作って食べたのが始まりだとも言われ、毎年、夏休みの行事として子どもたちは大変楽しみにしているそうです。

男の子は、保護者らが切り出してきた竹でソーメン流し用の土台作りや器、箸を作成し、女の子は、おにぎりやガネを作ったり、ソーメンを茹でたりと準備は主に子どもたちで行われました。また、この伝統風習を絶やさないために、上級生らが中心となって下級生らに対し、教え伝えているそうです。

当日は、地域住民約30名が集まり、子どもたちが一生懸命に作ったおにぎりやソーメン流しなどを楽しみました。

子どもたちは、「とても楽しかったので、この風習がずっと続いてほしいです。」と話していました。